

## Contents

|  |    |
|--|----|
| 新春トーク  | 1  |
| 年頭のごあいさつ<br>名古屋国税局 課税第二部長 河之口 幹夫                         | 4  |
| 受章・表彰  | 5  |
| 税制改正要望活動   | 6  |
| 活動報告   | 7  |
| 部会だより 青年部会・女性部会活動  | 8  |
| 部会だより・支部活動   | 10 |
| 新会員紹介  | 11 |
| 税だより   | 12 |
| この人<br>豊根発 最高の“ロイヤルキャビア”を世界に発信したい!!<br>チョウザメ養殖家/小早川 武史 氏 | 16 |
| 税の標語・税に関する絵はがきコンクール                                      | 18 |
| インフォメーション 表紙紹介<br>茶臼山高原スキー場                              | 19 |



豊根村 茶臼山高原スキー場  
令和5年12月23日 スキー場開きの様子



出典：豊根村観光協会

# 新春トーク



新城税務署長  
加藤 修 氏

新城法人会会長  
夏目 工

この度の能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、被災地の一日も早い復興をお祈りします。

■新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。早速ですが、新年を迎えての抱負をお聞かせください。

**署長** 新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りいたします。この度の能登半島地震では大変多くの方が被災されており、心よりお悔やみ・お見舞い申し上げます。今年の干支は辰、私は、昭和39年辰年生まれで7月に還暦を迎えます。人生の終盤に差し掛かり、何か特別なことをしようとは考えていませんが、公私ともに思い残すことのないようにしたいと思っています。

新年の抱負としては、「税務行政のDX」に取り組むとともに、「事業者のデジタル化促進」という社会全体のDX促進について、法人会の皆様にご協力をいただき進めていきたいと思っています。

間もなく、確定申告の時期を迎えますが、確定申告事務を円滑に行うことは、税務行政に対する信頼と評価を得る上で重要であると考えています。

令和5年分の確定申告では、より一層利便性が向上している自宅からのe-Tax申告を積極的に勧奨するとともに、確定申告会場でもスマートフォンを利用した申告を基本として対応してまいります。また、インボイス制度が開始して初めての消費税の確定申告となりますが、納税者が安心して申告を行うことができるよう柔軟かつ丁寧な対応に努めていきます。

なお、納付の際は、ぜひ、ダイレクト納付やスマホアプリ納付など、キャッシュレス納付をご利用いただきますようお願いいたします。

**会長** 年明け早々、能登半島地震など大変悲惨な出来事が続き心を痛めております。今年辰年ですので、運気が上がっていくことを願い一日も早い復興と通常の生活が取り戻せますよう心からお祈りしま

す。さて、昨年の総会で会長に就任し8カ月が過ぎようとしています。各種事業始め関係団体との連携協調など、会長の職務を微力ではありますが、精一杯務めさせていただき、滞りなく遂行できたのではないかと安堵しています。これも、会員並びに役員の皆様方と、税務当局のご支援ご協力のお陰と感謝いたします。

今後も法人会維持と発展のために、積極的な事業活動の推進を図っていくよう努めてまいります。

実は、私、年明けとともに古希を迎えました。2年前病気をしましたが、何とか体力も戻ってきていますので、体調管理に心掛け様々な状況乗り越えていきたいと思っています。

また、現在、氏子総代をやっており年末年始とご奉仕したのですが、コロナ禍の時とは違い、大勢の方が初詣に来られたのを見て少しずつ状況が変わってきたとつくづく思い、今年が良い年であることを願いました。

■赴任後半年が経ちましたが、新城管内の印象や感想をお願いいたします。

**署長** 管内(奥三河)は、多くの名所や史跡がある地域で期待しておりましたが、実際に各名所等を訪れてみて一段と奥三河の良さを感じています。

JR飯田線は秘境への通路、様々な方から人気があります。沿線には、他の地域にはない風情があり通勤通上で車窓から風景を眺めるのが毎日の楽しみです。沿線各駅も昭和の面影を残した駅が多く、飯田線に乗車する学生さんなどの乗車マナーの良さにも感心しています。

税に関する習字や作文等の応募作品を審査し、表彰のため各小中学校にお伺いしましたが、生徒の皆さんは素朴で元気がよく、作品に対して真面目に向き合ってくれていることがよく伝わりました。

また、「しんしろ軽トラ市」もこの地域独特の趣を感

## 加藤 修署長プロフィール

1964年生まれ(辰年)  
出身地:愛知県あま市(旧海部郡基目寺町)  
信条:信念をもって/感謝・恩返し



じます。「山湊馬浪（江戸時代の交易拠点）」という言葉にとっても心惹かれていて、新城という地域の歴史的発展を物語っている意味深い言葉だと思います。

あと、この地域には多くの歴史あるお寺がありますが、署の隣にある延命山永住寺（国登録有形文化財）は、署の敷地が永住寺の一部であったという経緯もあり関心があるお寺です。永正十年（1513）建立、今川義元から安堵の証文を与えられたという歴史があり、山門にそびえ立つ樹齢180年の太く立派なクロマツにはお寺の歴史的経過を感じます。

**会長** 新城管内は、人が穏やかでとても住みやすい所です。だから、この地域で育った子どもたちも優しく素直で真面目なのでしょうね。一方で、はにかみ屋さんが多いかもしれません。登校の折、こちらから投げかければ返してくれますが、自発的にあいさつをする子どもが少ないと感じます。

私は小学校同窓会の役員をやっていることもあり、以前行っていた「あいさつ運動」を復活させて、大人も子どもも関係なく誰にでもあいさつができるようになったら、さらにいい地域になっていくと思います。

また、2025年春、飯田線の豊川～本長篠間で交通系ICカードが利用可能になるそうですので、新東名高速の新城IC、それに伴うジェイアールバス関東のバス停開設もされていることから、さらに交通アクセスの利便性が高まり、観光客誘致につながり奥三河の観光事業が盛り上がりそうです。

昨年11月、「しんしろ軽トラ市」において当会の社会貢献事業を行いました。青年部会と新城支部共催のこの事業は、子ども対象の税金クイズを通じた税の啓発活動と来場者に向けた法人会のPR活動として行っており、有意義な場所として活用させていただいております。

署長が言われるように、この地域はお寺が多いところですね。お寺には長い歴史があり、それを見聞きすることでこの地域の歴史も知ることができますので、大変興味深いですね。

■税務署に入られたきっかけ、今までの印象に残っている勤務地やお仕事内容についてお聞かせください。

**署長** 父が電電公社（現NTT）、伯父が銀行に勤めていたこともあって、子どものころから安定した公務員か銀行員志向はありました。部活の推薦で銀行に就職する予定でしたが、急激な円高等で雇用情勢が悪化し推薦枠が無くなり慌てて公務員試験を受けたものの、手遅れでした。結局、公務員への気持ちは変わらず、就職浪人をして目指しました。運よく1年で国税専門官試験に合格することができました

が、私の就職を気に掛けていた両親が、国税庁の封筒に入った名古屋局採用内定通知書を見て、すごく喜んでくれたことを鮮明に覚えています。少しだけ親孝行ができていたのかもしれないですね。

平成11年から2年間勤務した国税局資料調査課の時は、土日や平日夜遅くまで仕事をしたので忘れられません。泊出張の時には、夜中までホテルの自室で仕事をしていました。上司や先輩への対応も厳格で大変でしたが、事案の関係で海外（英国）出張する経験もでき多くのことを学んだ期間で、今の礎となっています。

国税不服審判所勤務では、裁判官、弁護士や公認会計士といった国税以外の方たちと仕事をする機会があり、国税訟務官室では国の指定代理人として法廷に立つなど、なかなかできない経験をさせてもらいました。

**会長** 署長のお話をお聞きし、税務署には様々な仕事があり、その時々のお思いやご苦労もあって現在に至っていることを知ることができました。

当時、私の周りには公務員を志望する人が少なく、企業などに就職することが多い風潮でしたが、署長と同じ理由で公務員の道に進んだ人もいました。

私は、自社で働くことしか選択肢がなかったので、進路について深く考えたことはありませんでしたが、社長から受け継いだ後は、会社の存続のために私なりに一生懸命頑張ってきました。

どんな分野の職業にしても、いいこともあれば大変なこともありますし、現在は少子化問題もあり働き手がいないというきびしい状況もみられますが、就職したいと思ってもらえる職場の魅力を発信することで就職率が高まればいいですね。

■ご趣味や熱中していることなどありますか？

**署長** 歴史（戦国時代）が好きなお城巡りをしています。大河ドラマは、20年余り毎回欠かさず観ており、私なりの拘りの観方で楽しんでいます。昨年の「どうする家康」では、6月に「設楽原の戦い」が放送されましたが、着任後に長篠・設楽原について深堀りしたため、一層面白く観ることができました。お城は、旅行など行く先々にある城を訪れていて、管内の城跡もいくつか拝見しましたが、この年末には鳥原城に行きました。平成24年に行った日本のマチュピチュ、天空の城「竹田城（跡）」は、登るのが大変でしたが一番印象深いお城です。



また、電車の中で本を読んでいます。若いころは小説を読んでいましたが、しばらく読んでいなかったもので、昔読んで残っていた単行本を、長い通勤時間を利用して読み返しています。三浦綾子の「氷点」では、小説の舞台になった旭川市見本林や三浦綾子記念館に行くほど心打られました。

あと、趣味ではありませんが、平日の日課として、夜、家の周りを20分ほど歩いています。健康のためだけでなく、静かで暗い中を歩きながら一日を冷静に振り返って翌日のことを考えるいい時間になるので長いこと続けられています。

**会長** 私は残念ながら、これだという趣味がなくて、以前、剣道をやっていたことがありますが、年齢のこともあり辞めてしまいました。署長が健康と一日の振り返りのために歩いているとのことですが、とても良いことですね。

また、歴史やお城が好きだということですので、この地域には歴史にまつわる長篠城址をはじめ多くの山城跡もありますから、今後もいろいろと巡っていただけたらと思います。

■昨年6月、国税庁において「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション-税務行政の将来像2023-」を公表されましたが、どのような施策なのかお伺いします。

**署長** 経済社会のデジタル化が急速に進展する中、デジタル技術を活用し、税務行政の効率化・高度化に取り組む必要があることから、昨年6月、国税庁が「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション-税務行政の将来像 2023-」を公表し、これまでの「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収事務の効率化・高度化」に、新たに「事業者のデジタル化促進」を加えた3つの柱に基づき、税務行政のDXを進めています。

税務手続のデジタル化においては、納税者の利便性の一層の向上に向けて、e-Tax、キャッシュレス納付、電子納税証明書(PDF)の利用拡大、税務署に來られた納税者の方に応じた最適なオンライン手続の利用勧奨などにより、納税者の方が自宅等において税務手続を行っていただけるよう取り組んでおります。

また、事業者のデジタル化においては、事業者の取引全体のデジタル化、会計・経理全体のデジタル化等を推進することは政府全体として取り組む重要な課題であり、国税当局も政府の一員として取り組む必要があることから、他省庁や関係民間団体など

とも連携し、事業者が日ごろ行う事務処理を一貫してデジタル処理することを可能とすることで、事業者の正確性の向上や生産性の向上等を図ります。

このように、「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション-税務行政の将来像 2023-」は、税務手続のデジタル化だけでなく事業者のデジタル化も併せて促していくという、税務を起点とした社会全体のDX推進を図ることを目的としたものです。

**会長** 時代の流れでデジタル化は必要であり、円滑な税務行政を進めていくうえでも大事なことです。結果、デジタル化により税務手続きや会計処理がスムーズになり、時間短縮、業務の効率化、職場環境の改善にもつながりますので事業者にとっても有益ではないかと思えます。

コロナ禍で、急速にズーム会議が普及された時には、最初は慣れないこともあり、違和感がありましたが、遠方に出向かなくてもいいし時間の節約にもなるなど、便利さを実感しました。

今後は、広い分野でますますデジタル化が進んでいくとされていますので、それに対応して慣れていくことも必要ではないかと思えます。

■これを踏まえ、新城法人会に対しましてご助言などお願いいたします。

**署長** 新城法人会の皆様には、これまでも、e-Taxの推進やキャッシュレス納付に係る周知・広報及び利用拡大に御協力いただいておりますが大変感謝しているところでありますが、更なるお願いを申し上げますれば、「税務行政のDX」には事業者のデジタル化が不可欠です。事業者の様々な業務が一貫してデジタル化されることで、誤りの防止や書類の保存コストの低減、バックオフィス業務の効率化を通じた生産性の向上のみならず、経営の高度化や効率化につながっていくといったメリットがありますので、ぜひ、会員企業の皆様に会計・経理全体のデジタル化等を押し進めていただくようお願いいたします。

また、新城法人会の今後については、奥三河地域の特色である人と人のつながりといった「強い絆」を生かした事業活動等を更に展開されれば、この地域の本来の姿(山濤馬浪)を取り戻していけるのではと大いに期待しております。

**会長** 「税務行政のDX」については、長期的な視野に立って取り組んでいく必要があると考えますが、事業者のデジタル化促進について会員の皆様に深いご理解をいただけるように、法人会としても協力させていただきたいと思えます。

署長のお話にでましたが、当会は小規模法人会ですので、会員の皆様同士のつながりでもって活動が成り立っています。

事業活動を推進するためには組織基盤の安定が重要ですが、近年、会員減少は避けられず組織率の低下が課題となっておりますので、まずは組織率を上げていくことが必須だと考えます。

それには、ご協力いただいている税務署共催の新設法人説明会での加入勧奨は大事な機会です。

また、勧奨の際「会員のメリット」とは何かを全面にPRして、会員増強につなげていかなければと思っています。

税務当局には、今後とも、何卒ご指導、ご支援を賜りますようお願いいたします。

聞き手：小野田忠士広報委員長





## ◆ 年頭のごあいさつ ◆

名古屋国税局 課税第二部長

河之口 幹夫

令和6年の年頭に当たり、一般社団法人新城法人会の皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素から税務行政につきまして深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人新城法人会におかれましては、税のオピニオンリーダーとして、「税に関する絵はがきコンクール」などの税の啓発活動のほか、地域社会への貢献活動を実施していただいております。

ここに、夏目工会長をはじめ、役員の皆様並びに会員の皆様の日頃の御尽力に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症へ移行し、各地で数年振りに花火大会やお祭りが開催されるとともに、訪日外国人が増加するなど、社会活動が活発化し、我が国の経済に明るい兆しが見えました。

このような中、新しく迎える年が、会員の皆様にとって充実した年となりますことを祈念いたしますとともに、一般社団法人新城法人会が引き続き魅力ある事業活動を展開され、会員企業と地域社会の発展に一層の貢献をされますことを御期待申し上げます。

さて、税務行政を取り巻く環境は、経済社会のグローバル化・デジタル化の進展等により、大きく変化しています。

国税当局としましては、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という使命を果たすために、税務行政のデジタル・トランスフォーメーションとして、「納税者の利便性の向上」、「課税・徴収事務の効率化・高度化等」に加えて、「事業者のデジタル化促進」も関係省庁と連携して進めてまいります。

マイナポータル連携の拡大などにより、スマートフォンを利用した申告手続はますます便利になっておりますので、キャッシュレス納付と併せて、是非、御利用いただきますようお願い申し上げます。

また、昨年10月1日に開始したインボイス制度につきましては、これまで、幅広い事業者の方々に制度理解が進むよう、説明会の開催や個々の事業者の実態を踏まえた個別相談など、様々な取組を行ってまいりました。

今後も、こうした事業者の皆様へ寄り添った対応を継続するほか、事業者の方々の不安に耳を傾け、丁寧な説明を行ってまいります。

引き続き、法人会の皆様の御理解の下、これらの取組を進めてまいりたいと考えておりますので、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人新城法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

## 令和5年度 納税表彰

令和5年11月14日(火)／新城観光ホテル

令和5年度の納税表彰式が開催され、加藤 修署長から名古屋国税局長表彰の伝達と新城法人会4名の受賞者に表彰状が授与されました。

## 受賞おめでとうございます。

多年にわたり申告納税制度の普及・発展に尽力、貢献をされました。



## 納税表彰式

## 名古屋国税局長表彰



金原利幸氏  
(有伸東電装／役職 副会長)

## 新城税務署長表彰

上田佳代子氏  
(有上田モータース／役職 女性部会監事)

正木石根氏  
(正木建設㈱／役職 理事)

## 新城税務協議会長表彰

楠芳高氏  
(光田屋㈱／役職 常任理事)

小林弘季氏  
(株小林建装／役職 青年部会長)

## 「税の標語」表彰

令和5年11月15日(水)／市民センターほうらい

毎年、租税教育活動の一環として税に関する標語を募集しています。本年度は鳳来中学校の生徒139名の皆さんに応募していただき、入賞された18名の生徒さんの表彰式を執り行いました。当日は、鳳来中学校長吉田 詩朗様をご来賓にお迎えし、夏目会長から受賞者に各表彰状を、新城税務署 加藤 修署長から税務署長賞が授与されました。



## 最優秀作品

鳳来中学校 3年 青木ことみ さん  
「大好きな 鳳来支える 納税で」

〔新城市長篠地区の広告塔に掲載〕

※入賞作品18点の詳細は、18ページに掲載

## 第39回全国大会 群馬大会 =税制改正要望大会=

令和5年10月18日(水) / 高崎芸術劇場

第39回法人会全国大会群馬大会が開催され、全国から法人会会員約1,400名が参加しました。新城法人会からは、夏目会長が出席しました。

全国の法人会員らの要望事項が公益財団法人全国法人会総連合に上申され、全国大会において提言内容が発表されました。その後、各県連や単位会において、国や国会議員、地方自治体首長に対して「令和6年度税制改正に関する提言」に関し要望活動を実施しました。

### 令和6年度税制改正スローガン

- ◆財政健全化は国家的課題。負担を先送りせず現世代で解決を！
- ◆企業への過度な保険料負担を抑制し、経済成長を阻害しない社会保障制度の確立を！
- ◆経済再生には中小企業の力が不可欠。健全な経営に取り組む企業に実効性ある支援を！
- ◆中小企業は地域経済と雇用の担い手。本格的な事業承継税制の創設を！



ウェルカムコンサートの様子

## 令和6年度税制改正要望活動を実施

新城法人会では、管内の1市2町1村の首長並びに各商工会長に対して税制改正要望活動を行いました。

「税制改正に関する提言書」を手交



12月13日(水)

左から原田税制担当副会長(北設支部長)、伊藤豊根村長



12月13日(水)

左から村上東栄町長、原田税制担当副会長(北設支部長)



12月14日(木)

左から松井税制委員長、夏目会長、土屋設楽町長



12月20日(水)

左から松井税制委員長、下江新城市長、夏目会長

## 公開オンラインセミナー(社会貢献事業) 令和5年11月20日(月)

演題 年末調整の流れとポイントを解説！  
2023年版 年末調整実践セミナー

講師 伯母 敏子 氏 税理士 参加数 45名



## 公開講演会(社会貢献事業)

令和5年12月12日(火) / 新城文化会館大会議室

演題 どうなる日本！どうする中小企業？～海外情勢から日本経済を読む～  
ウクライナ侵攻・米中関係の緊張・円安ドル高 のゆくえ

講師 須田 慎一郎 氏 経済ジャーナリスト 参加数 93名

### プロフィール

経済ジャーナリスト。1961年、東京生まれ。  
日本大学経済学部卒。経済紙の記者を経て、フリー・ジャーナリストに。「夕刊フジ」「週刊ポスト」「週刊新潮」などで執筆活動を続けるかたわら、テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、読売テレビ「そこまで言って委員会NP」、文化放送「須田慎一郎のこんなことだった！」等にもわかる経済学」他、テレビ、ラジオの報道番組等で活躍中。  
また、平成19年から24年まで、内閣府、多重債務者対策本部有識者会議委員を務める。  
政界、官界、財界での豊富な人脈を基に、数々のスタッフを連発している。



## 「税の標語」 広告塔を書き換え

令和5年11月

### 広告塔で「税」と「法人会」をPR

鳳来中学校3年 青木ことみさんの最優秀作品を掲載

鳳来中学校生徒さんから募集した「税の標語」の中から選ばれた最優秀作品を、管内8基のうち、新城市長篠地区の広告塔に掲載しました。

新城法人会では、「税」に関心をよせてもらうとともに、法人会のPRをするため、地元の中学校の生徒さんの標語と、もう片面には当会のキャッチフレーズ「元気を地域にひろげる法人会」を広告塔に掲載しています。



## チャリティーゴルフ大会

令和5年10月19日(木) / 三河カントリークラブ

汗ばむ陽気の中、総勢40名11組が親睦を深めながらプレーを楽しみました。



## 地域企業研修旅行

令和5年11月9日(木) / 行先：滋賀県 長浜市

恒例の地域企業研修旅行を実施し、企業施設見学先として「ヤンマーミュージアム」を訪れました。ヤンマーの歴史や歴代のエンジンなどを解説する展示エリアの他、体を動かしながら楽しく学べるゲームコーナーもあり、皆さん童心に帰ってチャレンジしていました。昼食後は黒壁スクエアを散策しながら、のんびりショッピングを楽しみました。





## 青年部会

### 新城・東三河法人会青年部会親睦ボウリング大会

令和5年9月13日(水)/豊橋 岩屋キャノンボウル

昨年度に続き、2回目となる親睦ボウリング大会を開催しました。東三河法人会青年部会との情報交換・親睦を図ることを目的とする事業で、今回は東三河22名、新城8名が参加し、皆さん心地よい汗を流しました。



### 愛知県法人会青年部会連絡協議会情報交換会

令和5年10月12日(木)/名鉄グランドホテル



愛知県内法人会青年部会員が参加し、情報交換を行うとともに交流を図りました。当会からは、田中統括にご臨席いただき、小林弘季部会長、酒井監事、藤田副部会長、近藤副部会長が出席しました。

- 〈第1部〉大野ゆかり氏 講演会  
 テーマ：「健康経営とメンタルヘルス」  
 ～社員がイキイキと働くために、知っておきたいメンタルヘルス対策～  
 〈第2部〉テーブルディスカッション  
 テーマ：①健康経営について  
 ②会員増強について  
 ③租税教育事業、租税教室について

### 東海3県横断税務広報(愛知県連主催)

令和5年11月8日(水)/豊橋駅東口広場

「税を考える週間(11/11(土)～17(金))」に合わせ、愛知県連青連協は、岐阜県・愛知県・静岡県を横断し、税務広報活動を実施しました。

岐阜駅・名古屋駅・豊橋駅・静岡駅の各駅前にて、愛知県法人会連合会広報大使の女優佐藤奈織美さん等と一緒に、税務広報物の配布を行いました。当会からは、県連監事を務めている酒井監事と小林弘季部会長が参加しました。



### 第37回 全国青年の集い「山形大会」

令和5年11月10日(金)/ホテルメトロポリタン山形



**大会スローガン**  
 為せば成る！  
 ～感謝と恩返し  
 の想いを胸に～

全国の青年部会員が集まり、地域社会に対する活動、健康経営をテーマに情報交換や研鑽の場として開催しています。本年度も約2,000名の青年部会員が集まりました。

式典では租税教育活動、健康経営大賞の結果発表・表彰に続き、各部門で受賞された法人会の事例紹介が行われました。当会からは小林弘季部会長が参加しました。

### 研修親睦旅行

令和5年11月9日(木)～10日(金)/行先：山形県

全国青年の集いに合わせて、部会員の交流を図りながら名所を巡る親睦旅行を計画し、部会員6名が参加しました。今回は、新城⇄山形間(約1,200km)をレンタカーで往復しました。また、愛知県連主催の「愛知ナイト」にも参加し、愛知県内の青年部会と情報交換するとともに親睦を深めました。



## しんしろ軽トラ市 参加(新城支部協賛)(社会貢献事業)

令和5年11月26日(日)/しんしろ軽トラ市会場内

昨年に続き「しんしろ軽トラ市」に参加して、税の啓発活動、法人会のPR活動を行いました。小中学生を対象に税金クイズを実施し、抽選にて景品をプレゼント。今回も着ぐるみの「けんたくん」が登場すると、子どもたちに大人気でした。当日は新城税務署の職員の方々にもご来場いただきました。



## 税務研修会「署長さんを囲んで」

令和5年12月13日(水)/新城まちなみ情報センター

新城税務署長加藤 修様を講師にお迎えして「国税四方山話 ～これからの税務行政～」と題し、ご講話をいただきました。

警察署に出向された経験についてのお話は大変興味深く印象的でした。部会員6名が参加しました。



## 女性部会

### 親睦バス旅行

令和5年10月27日(金)/行先：静岡

今回は静岡方面に出かけ、鳥田市ぼらの丘の見学、焼津グランドホテルでのランチブッフェ、日本平夢テラスと清水河岸の市でのショッピングを楽しみました。部会員12名が参加しました。



## 愛知県法人会女性部会連絡協議会情報交換会

令和5年11月7日(火)/名鉄グランドホテル

愛知県内法人会女性部会員が参加し情報交換を行い、親睦を深めました。当会からは、田中統括にご臨席いただき、竹内部会長、星野副部長、小野田副部長、佐々木副部長が出席しました。

《第1部》百瀬則子氏 講演会

テーマ：「未来の子ども達のためにSDGs食品廃棄問題について」

《第2部》テーブルディスカッション

テーマ：①食品ロス問題について

②女性部会員の増強について



## 役員研修会

令和6年1月23日(火)/新城市商工会館 3階

テーマ/インボイス制度・電子帳簿等保存制度 Q&A

講師/新城税務署調査部門統括官 田中 卓也氏

インボイス制度と電子帳簿保存法について、実務の中での疑問点にお答えいただきました。質問が飛びかう充実した研修会となりました。役員13名が参加しました。



社会貢献活動

女性部会は租税教育活動に積極的に取り組んでいます。

※作品の詳細は18頁に掲載

◆「税に関する絵はがきコンクール」

選考会 令和5年9月27日(水) 対象/新城管内小学校6年生

◆税の標語募集

審査会 令和5年10月10日(火) 対象/鳳来中学校全校生徒



絵はがき選考会の様子



絵はがき展示



標語審査会の様子



税の標語 展示

支部活動



税務研修会(地区別懇談会)

令和5年11月

○ 署長講話「国税局の仕事～国税に携わる人々～」

講師/新城税務署 加藤 修 署長

○ 「スマホで確定申告」の説明

○ 税金クイズ Q&Aと解説

講師/新城税務署調査部門 田中 卓也 統括官

「税を考える週間」に新城税務署長による税務研修会を開催しました。加藤署長さんの経験に基づいた見識あるお話は、大変興味深い内容でした。続いて田中統括官に「スマホで確定申告」の説明と税金クイズの解説をしていただきました。



| 支部名  | 開催日       | 場 所             |
|------|-----------|-----------------|
| 新城支部 | 11月22日(水) | 新城市商工会館 研修室     |
| 南設支部 | 11月29日(水) | 県民の森 モリトピア愛知研修室 |
| 北設支部 | 11月6日(月)  | 東栄グリーンハウス研修室    |

税務研修会(実務者研修会)

令和6年2月

会員企業の実務担当者を対象に、税務署担当官の方を講師にお招きし研修会を開催しました。

第1部 実務者のための税務研修会

テーマ/電子帳簿保存法に関する実務上の留意点

講師/新城税務署調査部門 田中 卓也 統括官

| 支部名  | 開催日      | 場 所          |
|------|----------|--------------|
| 新城支部 | 2月27日(火) | 新城市商工会館 研修室  |
| 南設支部 | 2月28日(水) | 山びこの丘 研修室    |
| 北設支部 | 2月7日(水)  | 奥三河総合センター研修室 |

第2部 社会保険労務士のおはなし

テーマ/「どう変わるか!? Chat GPTの登場と量子力学の驚くべき不思議な性質」

講師/アイエス社労士事務所 伊藤 悟 氏

ご入会ありがとうございます  
ございました

## 令和5年新会員紹介

令和5年1月～令和5年12月

**\*\*新会員を募集しています\*\***会員の皆様、私たちと共に活動をして  
くださる企業をご紹介してください。

| 会社名               | 所在地                        | 業種        |
|-------------------|----------------------------|-----------|
| 株式会社Rev.とよね       | 北設楽郡豊根村下黒川字ケゴヤ9番・9番の2合併地   | その他サービス業  |
| 株式会社シミズカン         | 北設楽郡豊根村坂宇場字御所平45-1         | 旅館業・不動産業  |
| 有限会社Rin'go        | 北設楽郡東栄町奈根字加久保34            | 林業        |
| BUTEKO SAN        | 豊橋市東幸町字東明130番地 イースコートB     | 飲食業       |
| TEXAS GRILL       | 豊橋市東幸町字東明130番地 マツヨシ住宅2号室   | 飲食業       |
| ニューハウスリフォーム       | 浜松市中区佐藤3丁目8-4              | 建設業       |
| AGUIAS DO ORIENTE | 湖西市鷺津3107-38               | 小売業・配達業   |
| Saigo建築士事務所       | 豊川市小坂井町欠山33-8              | 建築士       |
| 石井設備              | 豊橋市向山町字中畑68-11             | 水道工事      |
| ヘアートリートメント福山      | 豊橋市高師町字北原1番地92市宮西口住宅1棟511号 | 美容サービス業   |
| カワイハウス            | 新城市布里字下貝津13番地              | 建設業       |
| 奥田工業              | 豊橋市忠興3丁目12番地23             | 建設業(溶接)   |
| ウセダ国際商会           | 湖西市吉美横枕785-70              | 小売業(機械器具) |
| 株式会社ちさと設備         | 新城市川田字下側1番地                | 管工事業      |
| 株式会社荒川工業          | 豊橋市西幸町字古並1-19              | 溶接工事業     |
| 有限会社金田化成          | 新城市有海字丸山1-10               | 製造業       |
| コウエイ塗装            | 豊川市三上町深田西29-3              | 塗装業       |
| 行政書士法人ポラリス        | 新城市野田字西町屋敷5-2 サンタフェF号      | 行政書士      |

## 〈新城市災害対策支援〉

## 募金のご協力ありがとうございました

令和5年10月19日(木)に開催したチャリティゴルフ大会において、参加者の皆様から善意の募金をしていただきました。

本年度は、新城市災害対策支援のため、新城市社会福祉協議会に寄付しました。



〈善意受領書〉

新城市社会福祉協議会にて  
左から近藤厚生担当副会長、夏目会長、田中厚生委員長

# この人

地元の気になる  
「この人」をご紹介します

## 豊根発 最高の“キャビア”を発信したい!!

人口1,000人を切った“愛知のてっぺんの村”で、チョウザメ養殖に挑戦しようとして一念発起し、東京の大学在学中、移住を決めた小早川武史さん。名古屋出身26歳。

世界三大珍味の一つ“キャビア”の生産を目指し、チョウザメ中心の暮らしをしながら、豊根村を盛り上げたいとの思いで奮闘する日々…

都会ではできない経験や世代を超えた人たちとの交流を通じ、地域の課題解決にも取り組んでいる。

■都会の暮らしから一転、豊根村に移住された経緯などお聞かせください。

大学3年になり就職活動を始め、大手企業で面接をしている頃、自分が本当にやりたいことは一体何なのだろうかと、進路のことで壁に直面しました。

そこで一旦立ち止まり、自分は幼い頃から釣りをしたり水族館にもよく通ったりして、魚が好きだったことを思い起こし、東京にこだわらなくても、どこかでやりたいことや合った仕事があるのではないかと、自分と向きあってみました。

そんな折、移住イベントに参加してみると「地域おこし協力隊」の募集が目にとまりました。愛知出身という思い入れもあり、豊根村のブースに立ち寄ったところ、チョウザメ養殖事業で村を盛り上げたいという熱意ある説明を受け、大変興味を持ちました。

同時に、愛知県市町村対抗駅伝での豊根村最下位の実態を知り、高校と大学の陸上競技で培った自分のノウハウが役に立つかもしれない、ランナーとして走れるかもしれないとの思いが湧いてきたのです。

実は、それまで愛知県に住んでいながら豊根村のことを全く知らなかったのですが、それを機にどんどん関心が高まりすぐに応募、大学3年生が終わる頃、「地域おこし協力隊」としてチョウザメ養殖をやってみようと思い、2019年4月移住しました。

■大学は続けられたのですか？

週一日程度、車で通いました。チョウザメのエサやりのため朝4時に起きて、9時のゼミに間に合うように、豊根村を午前5時に出発、午後9時頃帰着し、夜のエサやりというハードなスケジュールでした。飲み会の付き合いで遅くなることもありました(笑)

自分は法学部で、全然分野が違っていました。協力隊の体験を通じ、肌で感じたことを卒論のテーマにするのもいいのではと、ゼミの先生に後押しされ、友人達の支えもあり、何とか無事卒業できました。大変でしたが、とてもいい経験をしたと思っています。ちなみに卒論のテーマは“地方創生”について、でした。

■チョウザメ養殖のノウハウはどのように？

2012年、豊根村の活性化のためにチョウザメ養殖を手付けられた豊根フィッシュファーマーズ代表の熊谷仁志さんから、生態、飼育方法、水量水質の管理、卵の孵化の技術など、様々なことを教わりご指導いただきました。私にとって尊敬する師匠です。

2022年4月には熊谷さんが育てたチョウザメで初めて獲れた卵が、「ロイヤルキャビア」のネーミングでふるさと納税の返礼品に登録され、大変話題になりました。

手探りで始められた成果が出るまでの長い年月、大変なご苦労があったと思います。そのご苦労を無駄にしないためにも、思いや技術を引き継ぎ、将来へつないでいく使命があると思っています。

■ご自分の養殖場を持たれたのはいつでしょうか？

また、手応えは？

協力隊着任後、場所探しから始め、使われなくなった小さな水槽を設置して養殖していたのですが、チョウザメが成長してくると大きな水槽も必要になってきます。ただし、本格的な養殖場となると大規模な事業となりますので、役場と話し合いを重ね、地方交付金で建設していただくことになり、協力隊の任期が終わるタイミングの2022年に完成しました。山から流れてくる川の水を利用して水の管理ができる休耕田をお借りし、魚体の大きさに合わせ密にならない水槽が必要のため、大小6つ設置しました。

現在、稚魚を含め10gから3kgの3,000匹を飼育しています。

キャビアが獲れるまで10年かかるチョウザメ養殖は時間も労力もかなりリスクのある仕事ですが、一人で全ての作業をこなす結果も成果も自分次第…やりがいがあります。

でも、独立してみると、飼育と経営は別物であることがよくわかり、いかに熊谷さんのサポートが大きかったかと感じています。

■チョウザメの飼育についてお聞かせください。

チョウザメは、とても繊細でエサを食べることが下手な魚です。だから水の管理とエサの与え方には神経を使います。

エサは、朝6時頃から夜中の1時頃まで、小まめに与え続けます。寒さには強い魚ですが、冬の水温は3~4度と低く、動かないのでエサの食べが悪いため、気温が上がってから与えるなど、季節によって調整をしています。経営として成り立たせるには、たくさんエサを食べさせて、早く大きく育てることが重要で、現在養殖5年目となりますが、途中で死なせてしまえばこれまでの苦労が水の泡となってしまいますので、一年中気が抜けません。

また、成育2~3年目には、メスとオスの判別を行い、オスはエサ代を削減するために、食用として、村の民宿や道の駅など飲食店に提供しています。村にはチョウザメをさばける方が少ないので、その技術も習得しました。

判別方法は、生きたまま腹を開いて卵巣の有無を見分けた後、縫い合わせるという難しい技術で、内臓を傷つけないようにいつも緊張しながらやっています。

■ご苦労などはありませんか？

豊根村はありがたいことに川の水は豊富ですので、山からかけ流しのきれいな水が使えますが、水質は大事なため溜まった砂や落ち葉の清掃は欠かせない作業です。

そして、土砂崩れが多いところなので、一番の心配は水槽に取り込んでいる水が濁ったり、止まってしまうことです。大雨の時には、養殖場に設置してある管理小屋に滞在し、合羽を着て土砂を取り除く作業をしています。

昨年6月豪雨の時は道が土砂でふさがれ車では行けず、深夜大雨の中を歩いて行った時は本当に大変でした。

また、ネットを張るなどの鳥獣害対策は必須です。クマガイ出没する時もありますから…

最近では、エサ代がかなり高騰して結構な高手になっています。





**小早川 武史 氏**

チョウザメ養殖家

■キャビアが獲れるまでには10年かかるということですが、その間の生計はどうされているのでしょうか？

収入の足しにしょうと野菜作りを始め、販売していました。ネット通販や道の駅などで直売したり、名古屋まで販売しに行ったこともあります。今は、養殖が手一杯になりやれてないのですが、いつか、その経験が役に立つと思っています。

また、学習塾の講師をしています。教育委員会から依頼があり、お役に立てるならと迷わず引き受け、現在に至ります。

そして、チョウザメ養殖の傍ら、一年程で育つアマゴを養殖して販売しています。

冷凍したものをふるさと納税の返礼品に登録したり、県内各地のイベントでアマゴの塩焼きを提供しています。串刺しから焼き方までチューブで研究し、とても上手くなりましたよ（笑）豊根に来るまでは、自分がこんなことをするなんて考えられませんでした。ケータリングもしていますので、ぜひお声がけください。

普通に就職していたら中々できないことばかりで、とてもいい経験をさせてもらっています。

■学習塾の講師のお話が出ましたが、そのことについてお聞かせください。

移住してすぐに、村には学習塾もなく、通うには近隣の町に片道1時間30分～2時間もかかり負担感があるという保護者の方からのお話を聞き、「豊学研」という塾を開きました。



豊学研 豊学塾

当時、全寮制だった中学校の寮をお借りし、基礎学習の大切さと応用の仕方を教えています。自身の経験から得た勉強の方法や、解決力、思考力、判断力など変うための道筋を指南するのが自分の役割だと思っています。

また、勉強はやるべき時にしっかりやるのが大切で、その努力した過程こそが糧となり、将来の生き方につながるのでも伝えていきます。

子どもたちとは友達のように接し、同じ目標で会話のキャッチボールをするように心がけています。保護者の方にもとても喜ばれ感謝の言葉をいただき、やってよかったなと思います。

「豊学研」は、自分を高める場でもあるので、今後も続けていきたいと思います。

■他にも活動されているとのことですが…

愛知県市町村対抗駅伝の豊根村チームの監督を務めることになり2020年ランナースクラブを立ち上げました。駅伝には念願だったランナーとしても参加しています。



ランナースクラブのみんな



チョウザメ養殖場

実は、大学の時にマラソン留学生でオーストラリアに行ったことがあり、競技の後反省会をしないことに驚きました。もちろん、結果を求められる立場や状況では必要ですが、頑張っ走りきったこと、楽しんで走ることが大事で、それが人生のプラスになればいいのだと学び、自分は走ることが好きなのでとても共感しました。クラブでは、その教えどおり指導しています。

最初は、練習に乗り気でなかった子どもたちも、球技や鬼ごっこなど遊びの要素を取り入れたら、楽しんでくれるようになります。大人も積極的に参加してくれますのでうれしいです。

その他には、消防団や商工会青年部、地域のボランティア活動に参加しています。世代を超えた交流を通じ、村に対する思い、価値観、地域の情報など聞けずし、自分を知ってもらうことで信頼関係ができる大切な機会だと捉え、できる限り足を運んでいます。

■移住されてから心境の変化はありましたか？

また、移住されてくる方に向けアドバイスなどありましたらお願いいたします。

当初は、協力隊として自分が地域を変えてやろう、注目してもらおうと意気込んでいたように思います。日が経つにつれ、村の課題や声を聞き、ボランティア、高齢者のお手伝いなど地域に寄り添った地道な活動こそが地域の活性化につながるのではと、気持ちが変わってきました。

移住されてくる方へのアドバイスとしては、気負わず、あまり頑張すぎないことでしょうか。村の方は本音で対等に話して下さるので、自分はどうしたいか、何をしたいか、素直に伝えることが大切かなと思います。

また、自分のできることをコツコツやっていくことが必要かなと思います。

■今後の展望・希望などお聞かせください。

自分のチョウザメは、まだまだ成長が遅いので万全の飼育管理のもと、まずは、稚魚を1～2年で早く大きく育てることを目標におき、エサ代高騰に負けずに、頑張っ養殖事業を継続していきたいです。

5年後のキャビア生産に向けては、成果を上げられた熊谷さんを目指し、少しでも超えられるよう「小早川のキャビア」として、いかに付加価値をつけられるか考えていく必要があると思っています。

そして、品質の良いキャビアを生産し、豊根発最高の「キャビア」を発信し、豊根村の養殖産業をいっそう盛り上げていきたいです。



インタビュー：新木正明広報副委員長

**取材を終えて**

取材地は、いつもおもしろいところだ。豊根村で育った小早川さん、すっかり豊根村になじんでいる様子が見えつつある。また、お話を伺う中にも、村への思い入れが深いことを感じた。そして、今、豊根に憧れていた人々の心の中に、豊根村の存在がしっかりと定着しているのを感じた。豊根村が大好きなんですよ、と、豊根村を誇りに思っている。豊根村が大好きなんですよ、と、豊根村を誇りに思っている。豊根村が大好きなんですよ、と、豊根村を誇りに思っている。

社会貢献事業：令和5年度租税教育活動

税の標語 入賞作品

(対象：鳳来中学校全校生徒 応募作品139点)

|                |                   |          |       |
|----------------|-------------------|----------|-------|
| <b>最優秀賞</b>    | 大好きな 鳳来支える 納税で    | 3年 青木ことみ | (敬称略) |
| <b>新城税務署長賞</b> | 税の種 納めて咲かせる 笑顔の輪  | 3年 山本翔空哉 |       |
| <b>優秀賞 3点</b>  | あなたの税 明るい未来を 創るため | 1年 大内 来未 |       |
|                | 納税は 明るい未来へ 架ける橋   | 2年 幸村 朱璃 |       |
|                | たくさんの 笑顔と安心 納税で   | 3年 小林 麗美 |       |

入選 13点

|   |   |   |
|---|---|---|
| <b>1年 5点</b>  | <b>2年 3点</b>  | <b>3年 5点</b>  |
| 税金で 笑顔あふれる いい町づくり 豊田 幸奈<br>納税で みんなを支え 明るい社会 居沢 清美<br>納税で 豊かな暮らし 支えよう 宮島 由奈<br>税金で 笑っていこう 明るい未来 伊藤 愛心<br>みんなの税で つくっていくみんなの笑顔 菅沼 杏羽 | 納税で みんなの笑顔 守る未来 伊藤 きき<br>守ろうよ みんなの笑顔 納税で 伊藤 由依<br>税金で みんなの笑顔 守る未来 原田 柚季 | 税を知り ひかり輝く 鳳来に 高嶋航太郎<br>あなたの税 かがやく街の 架け橋に 金原 美南<br>ふるさとを 繋ぐはあなたと あなたの税 神谷 品大<br>税金は 未来をつくる 大黒柱 菅沼 沙穂<br>守りたい みんなの笑顔 税金で 森田あかり |

税に関する絵はがきコンクール入賞作品 (対象：新城管内小学校6年生 応募作品116点)

最優秀賞

新城税務署長賞

優秀賞 5点

(敬称略)



入選 11点



# 茶臼山高原スキー場

豊根村



豊根村にある「茶臼山高原スキー場」は県内唯一のスキー場で、1986年（昭和61年）の開業以来、小さなお子様から中・上級者まで幅広く楽しめるコースが人気です。

去る12月23日、開場式が催され今季の営業がスタートしました。晴天の中での開場式、その後ちらほらと雪が降る最高のスキー日和となり、シーズンを待ちわびた家族連れなどが初滑りを楽しみました。

運営する茶臼山高原協会は、前季より1,000人多い6万人の来場を目指しています。



開場式には、愛知県スキー連盟、茶臼山高原スキースクール、豊根村村長、村内議員、一般スキーヤーの皆さんが参加しました。



土日祝には  
ポンタも出役！

レストハウス  
「やはす」の  
一番人気は  
茶臼山カレー！



～ 豊根村観光協会からのお知らせ ～

## 茶臼山高原2024芝桜まつり

5月11日(土)～6月2日(日)開催予定  
皆さまのご来場をお待ちしております!!



毎週土曜日「ちびっこデー」では小学生以下は  
リフト・ベルコン無料となります!!





出典：豊根村観光協会

令和6年2月25日発行

発行所／一般社団法人 新城法人会  
〒441-1326 新城市字中野15-10  
TEL (0536) 22-1811  
FAX (0536) 23-1007  
URL <http://hojikai.zenkokuhojikai.or.jp/tinsho/>  
E-mail [s.hojin3@basil.ocn.ne.jp](mailto:s.hojin3@basil.ocn.ne.jp)

編集／一般社団法人 新城法人会 広報委員会

印刷所／株式会社印刷